

# 安全データシート

ページ: 1/10

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 20. 01. 2025

製品: ULTRAMID® A3WC4 POLYAMIDE / ULTRAMID A3WC4

バージョン: 5.1

(30045108/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

## 1. 化学品及び会社情報

### 品名:

ULTRAMID® A3WC4 POLYAMIDE

ULTRAMID A3WC4

用途: ポリマー

推奨用途: ポリマー, 工業用加工のみ

### 供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0V0L 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

### 緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

## 2. 危険有害性の要約

### 【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

### 【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 20. 01. 2025

製品: ULTRAMID® A3WC4 POLYAMIDE / ULTRAMID A3WC4

バージョン: 5.1

(30045108/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性:  
規制／注記にしたがって保管および取り扱いを行なえば、特に危険はない。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

記載の物質に基づく調剤: ポリアミド  
, ポリアミド (PA 66)

添加剤, 充填剤

### 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[吸入した場合]:

粉塵を吸入して具合が悪くなった場合、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

溶融物による熱傷については、医師の診察を受けること。

[眼に入った場合]:

眼に入った場合、大量の水で15分以上洗い流すこと。刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。気分が悪い場合: 医師の診察を受けること。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

危険有害事項: 意図された用途と適切な取り扱いをすれば、危険性はないと考えられる。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

### 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 泡, 粉末

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

記載の物質の微量の物質/グループが火災時に発生する可能性がある。

[火災時の特有の危険有害性]:

アンモニア水溶液, 一酸化炭素, シクロペンタノン, シアン化水素, アミン誘導体, ニトリル  
特別な火災条件下では、その他の微量の有害物質が発生する可能性がある。火災の状況によっては、  
更なる分解物及び酸化物が形成される。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用のこと。

[追加情報]:

汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。火災に曝された隣接の建物、機器類及び材料  
を放水で冷却し続ける。

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

注意事項は特になし。

[環境に対する注意事項]:

注意事項は特になし。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 適切な器具を用い回収し、廃棄すること。

大量の場合: 適切な器具を用い回収し、廃棄すること。

残渣の場合: 掃き集めるかすくい取る。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。

[追加情報]: 漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

粉塵／ミスト／蒸気を吸入しない。熱加工及び/又は機械加工中は加工機械設置場所の換気が必要である。

安全取扱注意事項:

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

適切な包装容器材料: 低密度ポリエチレン (LDPE), 高密度ポリエチレン (HDPE), アルミニウム, カーボンスチール (鉄)

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して、乾燥した涼しい場所に保管する。空気と爆発性混合物を形成する可能性があるので粉塵形成を避けること。

保管安定性:  
湿気を避ける。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

本品を正しく取り扱い、適切に換気を行なった場合、限界値に達しないと考えられる。

### 【保護具】

#### [呼吸用保護具]:

もしエアゾール/粉塵が発生した場合、呼吸保護具を着用すること。換気が不十分な場合は、呼吸保護具を着用すること。(微粒子フィルタ (EN 143 P2もしくはFFP2型準拠))

#### [手の保護具]:

高温の溶融物を大量に扱う場合、耐熱手袋 (繊維又は皮革など) を使用すること (EN407)。

#### [眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡 (フレームゴーグル) (例 EN 166)

#### [皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。)

#### [一般的な安全及び衛生対策]:

注意事項は特になし。粉塵、ミストもしくはフュームの発生や吸入を避けること。十分な換気を確認すること。作業中は、飲食や喫煙をしない。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。手袋の使用後、皮膚洗浄剤と皮膚化粧品を用いること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態: 粒状固体  
色: 種々の色。顔料による。  
臭い: 無臭  
臭いのしきい値: 適用せず

pH: 適用せず

融点: 約 260 ° C (DIN 53765)  
(1,013 hPa)

沸点範囲: 物質が分解するため、測定不能。

昇華点:	適用情報なし	
引火点:	適用せず	
蒸発率:	この製品は、不揮発性固体である。	
可燃性 (固体/ガス):	自己発火性なし。	(引火点から導きだした)
爆発下限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。	
爆発上限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。	
自然発火温度:	> 400 ° C	(ASTM D1929)
熱分解:	> 320 ° C	(TGA)
自己発火性:	自己発火性なし。	試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。
自己発熱性:	UNクラス 4.2 の自然発火性物ではない。	(VDI 2263, sheet 1, 1.4.1)
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	
蒸気圧:	適用せず	
密度:	1.15 – 1.60 g/cm3 (20 ° C, 1,013 hPa)	(EN ISO 1183-1)
相対密度:	試験の実施は、必要ない。	
嵩密度:	500 – 800 kg/m3 (20 ° C, 1,013 hPa)	(DIN 53466)
相対ガス密度 (空気):	適用せず	
水に対する溶解性:	不溶 (20 ° C, 1,013 hPa)	
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	適用せず	
粘度:	該当しない、製品は固体である。	
動粘性率:	該当しない、製品は固体である。	

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 20. 01. 2025

製品: ULTRAMID® A3WC4 POLYAMIDE / ULTRAMID A3WC4

バージョン: 5.1

(30045108/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

粒子特性

粒度分布: 球状体 -  
比表面積: 0.0 m<sup>2</sup>/g (MSSA)

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

温度: &gt; 320 ° C

製品安全データシートの第 7 項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: &gt; 320 ° C (TGA)

[混触危険物質]:

避けるべき物質はなし。

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:

危険反応なし。

本品は、化学的に安定している。

危険分解物:

アンモニア水溶液, 一酸化炭素, 二酸化炭素, シクロペンタノン, シアン化水素  
アミン類, ニトリル

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

本品は、化学的に安定している。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## 11. 有害性情報

### ばく露経路

### 急性毒性の評価

溶融物に接触すると、熱傷になることがある。

### 症状

(他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

### 刺激性

**刺激性作用の評価:**

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

**実験または計算によるデータ:**

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:機械的刺激を引き起こす可能性がある。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****感作性の評価:**

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

**生殖細胞変異原性****変異原性の評価:**

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

**発がん性****発がん性の評価:**

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

**生殖毒性****生殖毒性の評価:**

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

**発生毒性****催奇形性の評価:**

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

適用せず

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）****反復投与毒性の評価:**

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

**誤えん有害性**

予測される吸入危険性はない。

**その他該当する毒性情報**

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

本品は未試験である。記述は、本品の構造に基づくものである。水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

### 移動性

環境区分間の輸送評価:

土壌の固相には吸着しないと考えられる。

### 残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:

本品は容易には水に溶けないので、廃水処理施設で機械的方法により分離できる。

除去情報:

生分解困難である。

水中での安定性評価:

構造特性から加水分解はされないと考えられる。

### 生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

生体への著しい蓄積性はない。

生体蓄積性:

本品の安定性と水に対する不溶性のため、生物への悪影響は考えにくい。

### その他の有害作用

吸着性有機結合ハロゲン (AOX):

本製品は有機ハロゲンを含有しない。

### [追加情報]

その他の環境毒性情報:

製品は、高分子化合物である。

---

## 13. 廃棄上の注意

再利用方法を確認すること。

地方自治体の条例を遵守し、適切なごみ焼却施設で焼却すること。



[汚染された容器]:  
容器は完全に空にすること。  
完全に空にした容器は再利用できる。

## 14. 輸送上の注意

### 国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

### 海上輸送

#### IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
	海洋汚染物質: 非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

### Sea transport

#### IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
	Marine pollutant: no
Special precautions for user	None known

### 航空輸送

#### IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

### Air transport

#### IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
Special precautions for user	None known

**IMO機器によるバルクの海上輸送****Maritime transport in bulk according to  
IMO instruments**

海上のバルク輸送は目的としない。

Maritime transport in bulk is not intended.

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

---

**15. 適用法令**

消防法: 非危険物, 指定可燃物・合成樹脂類（その他のもの）

**その他の規則**

---

**16. その他の情報**

【JIS Z 7252/7253：2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

---

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。